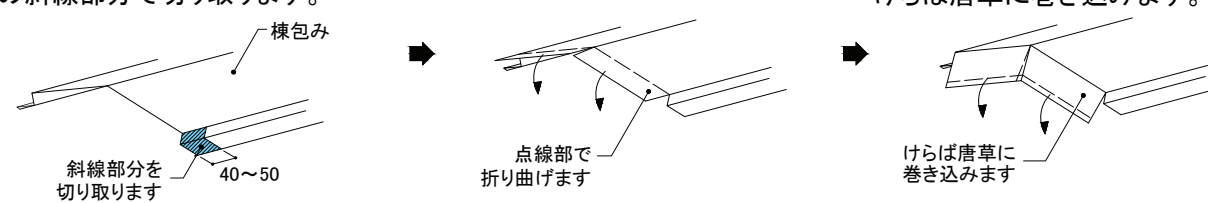
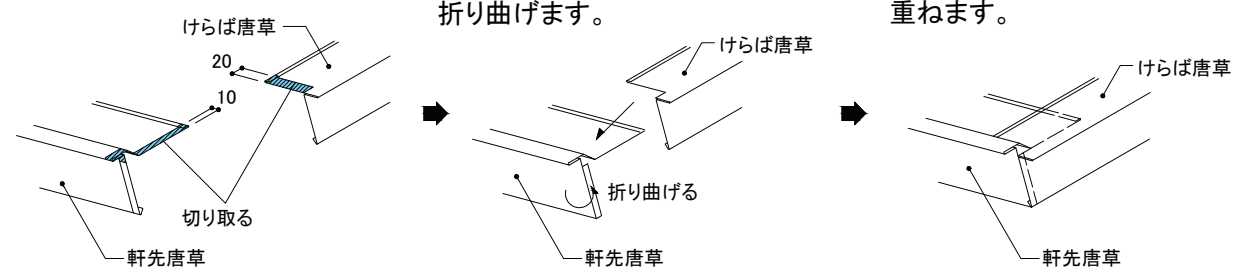
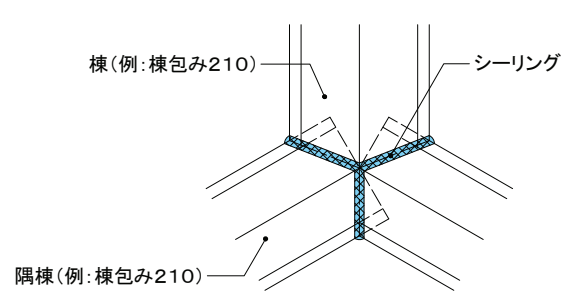
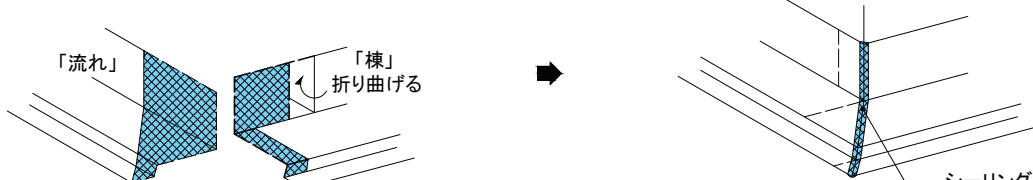


センタールーフ	工 法	下 地
	重ね葺き	直葺きまたは耐水合板
	葺き替え	既存または新規野地板

2) 付属部材の取り扱い・加工	① 棟包み210端部(けらば唐草使用時)
<p>●けらば唐草を使用して納める場合は、棟包み端部を現場加工してください。</p> <p>手順① 重ねの下になる棟包みの端部を図の斜線部分で切り取ります。</p> <p>手順② 点線部分で下に折り曲げます。</p> <p>手順③ 折り曲げた部分の下端をけらば唐草に巻き込みます。</p> 	
2) 付属部材の取り扱い・加工	② 軒先唐草ーけらば唐草
<p>手順① 斜線部分を切り取ります。</p> <p>手順② けらば唐草端部の下がり部分を折り曲げます。</p> <p>手順③ けらば唐草を軒先唐草の上に重ねます。</p> 	
2) 付属部材の取り扱い・加工	③ 大棟ー隅棟
<p>●棟包みどうしが重なるように端部を加工して納めます。</p> <p>●つなぎ部分には必ずシーリングを施工してください。</p> 	
2) 付属部材の取り扱い・加工	④ 壁水切(棟ー流れ)
<p>手順① 斜線部分を切断し、棟側の壁水切を折り曲げて納めます。 (斜線部分は勾配により異なります。)</p> <p>手順② つなぎ部分には必ずシーリングを施工してください。</p> 	

※付属部材のつなぎ方はあくまで一例です。現場の状況に応じて適宜ご対応ください。